

しょう かた
障がいのある方のための

さいがいたいおう
災害対応のてびき



けすにゃん (高松市消防局公認)

たかまつし ぼうか あんぜんきょうかい
高松市防火安全協会マスコットキャラクター



はっこう たかまつししよう ふくしか
発行：高松市 障がい福祉課

TEL : 087-839-2333 FAX : 087-821-0086
MAIL : syoufuku@city.takamatsu.lg.jp

もくじ
目次

ひ そな
日ごろの備え

… 2

あんしん きんきゅうりょうじょうほう ようい
たかまつ安心キット(緊急医療情報キット)を用意しましょう … 10

ようい
ヘルプマーク・ヘルプカードを用意しましょう … 11

し かくしょう かた
視覚障がいのある方

… 13

ちようかくしょう げんご かた
聴覚障がい・言語障がいのある方 … 14

し たい ふ じ ゆう かた
肢体不自由のある方

… 15

しんぞう しよう かた
心臓に障がいのある方

… 16

ぞう しよう かた
じん臓に障がいのある方

… 17

こ きゅう き しよう かた
呼吸器に障がいのある方

… 18

ちよくちょう しよう かた
ぼうこう・直腸に障がいのある方 … 19

ち できしよう はったつしよう かた
知的障がい・発達障がいのある方 … 20

せいしんしよう かた
精神障がいのある方

… 21

ひ 日ごろの備え

1 家の中の安全対策

まど 窓ガラスに飛散防止フィルム
ひさんぼうし などを貼る。

おお 大きな家具を、固定。
かく つっぱり棒や、L字型金具で、
こてい タンス・食器棚・冷蔵庫など
が倒れないように。

て もと 手元に置く。
れんらく ① 連絡に必要な携帯電話やFAXなど
ひつよう けいたいでんわ
たす ② 助けを呼ぶための携帯用ブザーや笛
よ けいたいよう
ふえ ③ 停電に備えて、懐中電灯や履物
ていでん そな かいちゅうでんとう はきもの
しつがいけんよう
(室外兼用)

2 非常用持出品 (災害が発生したら、すぐ持ち出すもの)

どこにある?
何が入っている?
家族や支援者と共に有。

さいしようげん 最小限に。
おも ひなん たいへん 重いと避難が大変です。

き 決まった場所に置きましょう。

チェックリスト

※使用期限のあるものは、定期的に確認しましょう。

食料

- 飲料水
- 保存食
- 特別食
- ラップ
- マグカップ



いつも持っているもの

- 貴重品
- 携帯電話



- ヘルプカード

- ヘルプマーク

- 笛・ブザー

- 中断できない薬の予備

衣類

- 下着
- 防寒着
- 雨具
- 軍手



- スリッパ
- ヘルメット

生活用品

- 懐中電灯
- 携帯ラジオ
- 予備の電池
- 携帯電話などの充電器



- カイロ

衛生用品

- タオル
- マスク
- ティッシュ
- ウエットティッシュ
- アルコール消毒液
- 携帯用トイレ
- おむつ・生理用品



医薬品

- いつも飲んでいる薬
- 常備薬（風邪薬、胃腸薬など）
- 救急セット
- 体温計



貴重品など

- 現金（キャッシュカード）
- 預金通帳
- 印鑑
- 運転免許証
- 保険証（コピー）
- お薬手帳
- 障害者手帳
- (身体障害者手帳、療育手帳、精神障害者保健福祉手帳)



3 備蓄品（しばらくの間、自分で生活するため、準備しておくもの）

水や食料など
少なくとも3日分
できれば1週間分程度
準備！



障がいの状態によって
必要になる特別な物や
装具は、多めに準備！

チェックリスト

※使用期限のあるものは、定期的に確認しましょう。

電気

懐中電灯



ロウソク、マッチ、ライター

医療器具



予備の電池

車いすなどの予備バッテリー

太陽光などの家庭用発電

暖房器具（電気を使わないストーブなど）

食料品

非常食



水

ポリタンク



いつも風呂に水をためておく

ペットボトルの水

(1日分ひとり3L以上)

トイレ

携帯トイレ

(家族のトイレ回数×3～7日間分)

トイレットペーパー

バケツ

石けん・消毒液 消臭剤



ウエットティッシュ

使い捨てマスク・手袋

紙おむつ、おしりふき



照明

新聞紙



掃除道具

ガス・灯油

こまめな給油



ガソリン専用の予備携行缶

4 指定緊急避難所を確認しましょう

まずは…

指定避難所

必要に応じて…

福祉エリア

生活に支障がでる…

協定福祉避難所

コミュニティセンター

小中学校など



事前に確認しましょう。

□自分の地域の避難場所・避難所

□その場所のトイレや段差、電源の確保など

指定避難所内

一般避難エリア



福祉エリア



特別養護老人ホーム、

介護老人保健施設、

障害者福祉施設など

高松市が、施設の被災

状況など受入体制

を確認する必要がある

ので、直接、協定

福祉避難所に避難す

ることはできません。

5 安全な避難経路を確認しましょう

避難にかかる時間は？



何通りかの避難経路をつくる。

避難の邪魔になる物、倒れてきそうな物は？



緊急避難場所や避難所までの道を
実際の移動方法（歩くや車いすなど）
で行ってみる。

6 正確な災害情報を得るために

ただ 正しい情報

ただ こうどう
正しい行動



～正確な情報を得るために～

テレビ、ラジオ、携帯電話、アプリ、
近所の方に声をかけてもらうなど。

停電に備え、いくつかの方法
を用意しましょう。



香川県防災情報メール

(事前登録が必要)



防災アプリ「香川県防災ナビ」

Android



iOS



ねっと きんきゅうつうほう
Net119緊急通報システム

(事前登録が必要)

● 聴覚や言語に障がいのある方が対象です。

● 申込方法（2通り）

①スマートフォンなどを持参の上、窓口に訪れる。

②高松市ホームページで、利用申請書を印刷し、郵送する。



【窓口・郵送先】

〒760-8571 高松市番町一丁目8番15号

高松市防災合同庁舎4階（市役所の西隣の建物）

高松市消防局情報指令課

TEL : 087-861-2500 FAX : 087-861-1544

MAIL : shirei_119@city.takamatsu.lg.jp

7 避難行動要支援者名簿に登録しましょう

● 避難行動要支援者って？



災害発生時や発生のおそれのある場合、自分だけでは避難するところが難しく、誰かの支援を必要とする人のことです。

● 登録すればどうなるの？

行政と地域で、登録者の情報を共有し、災害時の避難支援や日頃の見守り活動などに役立てられます。

※避難行動要支援者は、避難支援者のボランティア精神に基づく支援を受けることになるため、名簿への登録によって、災害時の支援が保証されるものではありません。

● 登録方法

新たに高松市が定める登録対象者になつた方

毎年夏～秋頃、
登録希望調査票
(兼申請書)を
送付しています。

対象者以外で登録を希望する方

各地区コミュニティセンターを通して登録してください。

登録しているかどうかが分からぬ方

高松市健康福祉総務課
TEL:087-839-2372
FAX:087-839-2375
にお問い合わせください。

避難支援者を2名程度指定する必要があります。

近所にお住まいの方を、本人の承諾を得た上で、
本人又は御家族で選定してください。

※避難支援者は、法的な責任や義務を負うものではありません。



8 日頃から、御近所づきあいを大切にしましょう

むり はんい しよう
無理のない範囲で 障がいがあることを、近所の方に知つておいてもらいましょう。



- 避難を助けてくれる協力者 になってもらえないか、近所の方に声をかけてみましょう。
- 自分や家族だけでは、避難が難しいことを想定しましょう。

災害の時は、近所の方が頼りです



- 避難のときに必要な支援内容
- 協力をしてもらえる時間帯を確認しましょう。
- 複数人に協力ををお願いしましょう。

そのため
御近所の方に挨拶するなど
日頃の交流を大切に
しましょう。



9 自分の安否を伝えるための方法

まえ
前

もって

れんらくほうほう そうだん
連絡方法 を 相談
しておきましょ
う。

メ

モ

きんきゅうれんらくさき
に、緊急連絡先を
か 書き、日頃から持ち
ある歩きましょう。

S

NS

ふえいすぶつく
Facebookや
ついったー やくた
Twitterなど役に立
つことがあります。

171

さいがいでんごん
「NTT災害伝言ダイヤル 171」

じぶん ぶじ ろくおん かぞく
自分が無事であることなどを録音したり、家族の
メッセージを聞いたりする、電話のサービスです。

ろくおん
録音する

- ① 「171」に電話をする
- ② 「1」と「自宅の番号
(市外局番含む)」を押す
- ③ 「1」を押す
- ④ 話す
- ⑤ 「9」を押す



き
聞く

- ① 「171」に電話をする
- ② 「2」と「自宅の番号
(市外局番含む)」を押す
- ③ 「1」を押す
- ④ 聞く
- ⑤ 「9」を押す



171



さいがいでんごんばん うえぶ
「NTT災害伝言板 (web171)」

かつよう けいじばん
インターネットを活用して、掲示板にメッセージを
とうろく かくにん
登録したり、メッセージを確認したりするサービス
です。 <https://www.web171.jp> に、パソコンや
けいたいでんわ
携帯電話でアクセスしましょう。

たかまつ安心キット（緊急医療情報キット） を用意しましょう

専用の容器に入れ、災害時や、自宅で具合が悪くなったときなど、
「もしも…」のときに備えるものです。



- たかまつ安心シート（持病・かかりつけ医療機関・緊急連絡先など記入）
- 写真（本人確認ができるもの）
- 健康保険証（写し）
- 診察券（写し）
- 薬剤情報提供書（写し）・お薬手帳（写し）

冷蔵庫の中に保管！

駆けつけた方が、すぐに分かる場所に
保管します。



● どうすればもらえるの？

「配布申込書」に必要事項を記入し、各地区コミュニティセンター
を通して提出してください。

（配布申込書は、高松市公式ホームページからダウンロードできます。）

登録後、各地区コミュニティセンターでキットを受け取ります。

ヘルプマーク・ヘルプカードを用意しましょう

義足や人工関節を使用している方、内部障がいや難病の方、妊娠初期の方など、外見から分からなくても援助や配慮を必要としていることを知らせる、タグ型のマークです。

ヘルプマーク

もらえるところ

- 高松市 障がい福祉課
(市役所2階23番窓口)
- 総合センター、支所



カバンなどに
身に着け、いつも
持ち歩くことが
できます。

災害の時（避難する時や、避難先など）

緊急の時（パニックや発作、急な体調不良）

普段の生活（道に迷った時や、切符を買う時など）



外出時などで困りごとが起ったときに、周りの人に、自分の情報や困っていること、手助けしてほしいことを伝えられる、名刺サイズの紙のカードです。

ヘルプカード

もらえるところ

- 高松市 障がい福祉課
(市役所2階23番窓口)
- 総合センター、支所
- 高松市公式ホームページから

ダウンロード

カード入れや財布に入れて、
いつも持ち歩くことができます。



●ヘルプカード「援助してもらいたいこと」書き方の例

災害時には、日頃の支援者が支援をしてくれるとは限りません。
初めて支援してくれる方や医療関係者などに、必要な支援の内容を伝えましょう。(本冊子の裏表紙にも、記入スペースがあります。)

めふじゅう
目が不自由です。

いどう ゆうどう
移動するときに、誘導してください。
さい。

まわじょうきょうけいじ
周りの状況や掲示を、教えてください。

みみき
耳が聞こえません。

しゅわひつだんはな
手話か筆談で話してください。
わたしまえがわはな
私の前側から話してください。

あしふじゅう
足が不自由です。

いどう ゆうどう かいじょ
移動するときに、誘導・介助してください。

おおこえはな
大きな声で話しかけられるのが苦手です。

むずかことばにがて
難しい言葉が苦手です。
かんたんことばはな
ゆっくりと簡単な言葉で話してください。

こえで
声が出ません。

ひつだんねが
筆談でお願いします。

みみき
耳が聞こにくいで。

ほちょうきしよう
(補聴器使用)
おおこえ
ふつうの大きさの声で、ゆっくりと話してください。

みみよこはな
耳の横から話してください。

からだふにがて
体に触れられるのが苦手です。

からだにがて
体には、さわらずにゆっくり、はっきりと指示してください。

かいわにがて
会話が苦手です。

コミュニケーションボード(カード)などを使ってください。
ことばでじかん
言葉が出るのに時間がかかります。

あんぜんぱしょつ
安全な場所に、連れて行ってください。

視覚障がいのある方

非常用持出品や備蓄品

- めがねやルーペ
- 白杖
- 時計（音声、触知式など）
- 緊急時の連絡先の点字メモ
- メモ用録音機（替電池）
- 携帯式ラジオ（カード式）
- 音声読み上げ対応携帯電話（充電器）
- 家族写真（家族を探してもらうため）など

● 日頃から気を付けておくこと

飛び散ったガラスなどに備え、厚底靴や軍手などを用意しましょう。



白杖、ラジオ、点字板は決まった場所に置きましょう。



● 災害が起きたら

地震後の部屋は、倒れたものやガラスの破片が飛び散っていることがあるので、あわてて移動しないようにしましょう。



周囲の人々に状況を聞き、安全な場所に誘導してもらいましょう。



地震の場合、家族や近所の方に火気や水回りの点検をお願いしましょう。



聴覚障がい・言語障がいのある方

非常用持出品や備蓄品

聴覚障がい

補聴器、人工内耳機器 替電池

筆談用具、メモ帳 など

音声・言語障がい

携帶用会話補助装置

筆談用具、メモ帳

電子喉頭器

音声拡張器

替電池 など

そしゃく障がい

ガーゼエプロン（気管孔保護）

紙マスク

経腸栄養剤

筆記用具、メモ帳

など

●日頃から気を付けておくこと

補聴器、携帯電話、文字情報が
得られる携帯端末、笛、ブザー
など、いつも
手元に置きま
しょう。



介助者が不在の場合、特に夜間の
情報伝達をどうするかについて、
家族や支援者と
あらかじめ決め
ておきましょう。



●災害が起きたら

動けなくなった場合、笛や携帯用
ブザーなどで
居場所を知らせ
助けを求めまし
よう。



周りの人に、聴覚障がいがある
ことが分かるよう、ヘルプマーク
を身に着けるなどして、必要な手
助けや避難誘導などを、してもら
いましょう。

し た い ふ じ ゆ う 肢 体 不 自 由 の あ る 方

ひ じょう ようちだしひん び ちくひん **非 常 用 持 出 品 や 備 蓄 品**

予備の補装具や車いす



予備のバッテリーや充電器

床ずれ対策ができるもの

おんぶひも、担架、毛布など（避難支援が受けやすいように）

紙おむつや携帯トイレなど、自分にあった排泄処理用具など

● 日頃から気を付けておくこと

ね ば しょ き ょうくう **寝る場所や居住空**

かん たお
間は、倒れてくるも
のがないようにし、
ひなん かい
避難しやすい1階を
えら 選ぶようにしましょ
う。

ほ こ う ほ じ ょ ぐ く るま **歩行補助具や車い**

あんぜん ば しょ
すは、安全な場所に
お く ら や め
置き、暗闇でもわか
るよう は つ こ う
に発光シ
ルなどを貼ってお
きましょう。

くるま く う き あ つ **車いすの空気圧**

でんどう
や電動バッテリー
じゅうでん えきりょう
(充電や液量)
は、いつもチェックしておきましょ
う。

● 災害が起きたら

か じ お **火事が起きたとき**

いえ そと で
家の外に出ること
を優先しましょ。



うご 動けるとき

あんせん し せ い
は 這うなど安全な姿勢
ほ じ ょ ぐ
をとり、補助具や
ひ じょう ようちだしふくろ
非常用持出袋 を
じゅん び ひ な な し え ん
準 備 し て、避難支援
たの
を頼みましょ。

うご 動けないとき

おおごえ ふえ
大声や笛、ブザーなど
おお おと た
で大きな音を立てて、
たす 助けを
よ呼びま
しょう。



心臓に障がいのある方

非常用持出品や備蓄品

ペースメーカーについて対応してくれる

医療機関や業者の連絡先メモ

発作時に必要な薬など



日頃から気を付けておくこと

主治医に確かめましょう。

薬の作用

作用時間の長さ

薬が飲めなかつたときの

影響



かかりつけの医療機関や機器

メーカーに相談しましょう。

機器が故障したときの対応

緊急時の連絡方法



災害が起きたら

一定以上の身体活動やストレスにより、心臓に負荷

がかかると、呼吸困難や狭心症の発作などの

症状が発症するため、できるだけ落ち着いて、

無理な行動はせずに、早めに支援を求めるましょう。



じん臓に障がいのある方

非常用持出品や備蓄品

- 透析用の薬（リン、カリウム吸着剤など）や用具
- 機材の予備電源
- 腹膜透析用セット
- 血液検査に対応してくれる医療機関の連絡先など

● 日頃から気を付けておくこと

透析ができない場合の対策を、主治医や家族などと話し合っておきましょう。



あなたの透析条件を「ヘルプカード」などに記入しておきましょう。



● 災害が起きたら

薬や透析が継続できるよう、避難所の担当者などに、移動手段や医療機関を確保してもらいましょう。



呼吸器に障がいのある方

非常用持出品や備蓄品

□アンビューバッグ（手動式蘇生バッグ）

□ネブライザー

□酸素濃縮器

□携帯用酸素ボトル

しゅどうしきそせい

しゅどうしききゅういんき

えきたいさんそ

よび



●日頃から気を付けておくこと

家族や主治医、酸素供給業者などと、救急対応について話し合っておきましょう。



酸素チューブの配管は、からまないよう工夫してもらいましょう。



酸素濃縮器や液体酸素ボンベは、火気から離れた場所に、倒れないよう、しっかり固定しておきましょう。

●災害が起きたら

極度の不安や恐怖からパニック状態になると、酸素消費量がふえてしまうので、できるだけ落ち着いて行動しましょう。



避難所の担当者などに、早めに医療機関と連絡を取ってもらうようにしましょう。



ぼうこう・直腸に障がいのある方

非常用持出品や備蓄品

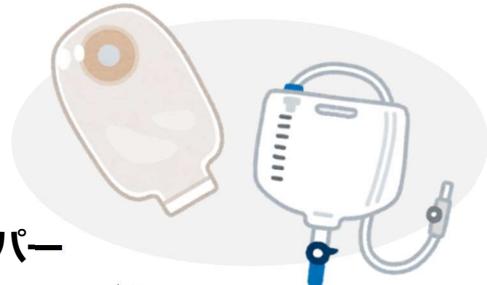
ストーマ装具一式（1か月分程度）

ストーマ用はさみ（装具穴あけ用）

ウエットティッシュ ティッシュペーパー

剥離剤 消臭スプレー 廃棄用ビニール袋

導尿に必要な器具（カテーテル） 洗い流さない洗浄剤 など



●日頃から気を付けておくこと

ストーマ装具のメーカー・サイズ、販売店の連絡先など「ヘルプカード」や「オストメイトカード（ストーマカード）」に記入しておきましょう。



洗腸の方は、自然排便に慣れてしまいましょう。

●災害が起きたら

避難所の担当者などに「オストメイト（人工肛門・人工ぼうこう保有者）」であることを伝え、ストーマ装具の販売店やオストミー協会などと連絡を取ってもらうようにしましょう。

装具の入手や、皮膚のびらんなど医療的な救護をもと求めるときは「医療救護所」へ行き、オストメイトであることを伝えましょう。

避難所では、トイレの回数を気にして、食事や飲料水を制限し、体調を崩さないように気をつけましょう。



知的障がい・発達障がいのある方

非常用持出品や備蓄品

- 続けて飲まなければならない薬やお薬手帳
- 食べられる非常食や、こだわりのある食品
- いつも使っているもの、安心できるもの
(おもちゃ、本、音楽、時計など)
- 耳当てや耳栓 絵カード えんぴつやペン、メモ帳など



日頃から気を付けておくこと

学校や職場、通つている施設などの行き帰りに災害があったらどうするか、練習をしておきましょう。



- 「ヘルプカード」に書いておきましょう。
- 普段から周りの人に、分かってもらうようになります。

- コミュニケーションの取り方
- 好きな・苦手なもの・食べ物
- 薬やその飲み方
- 生活の仕方
- 手伝ってほしいこと



災害が起きたら

災害が起きた時、どうすればいいか、家族やいつも支援してくれる人と、前もって決めたことを守るようにしましょう。

どうすればいいか
わからなくなったら
周りの人に助けてもらいましょう。



精神障がいのある方

非常用持出品や備蓄品

- いつも飲んでいる薬
- お薬手帳や処方箋
- 医療機関の連絡先など



●日頃から気を付けておくこと

災害時は、動揺やストレスで、症状が悪化したり、通院できない場合があります。かかりつけ医や家族などと、対処方法を相談しておきましょう。



日ごろ通っている施設や職場、学校などと、災害時の避難場所や緊急連絡方法を話し合っておきましょう。



支援を受ける時に、対人関係で配慮が必要なことや、支援をしてほしいことを「ヘルプカード」に記入しておきましょう。



●災害が起きたら

落ち込みやイライラ、不安、幻覚、妄想などが出了たときは、近くの人に自分の心身の状況や生活上の注意事項を伝えて、医療機関などに連絡してもらうようにしましょう。

混乱して自分で決められないときは、近くの人に支援を頼みましょう。



令和3年5月20日から

警戒レベル

4

避難指示で必ず避難

ひなんかんこく

避難勧告は廃止です

警戒レベル

新たな避難情報等

5



災害発生
又は切迫

きんきゅうあんぜんかくほ
緊急安全確保※1

4



災害の
おそれ高い

ひなんしじ
避難指示※2

3



災害の
おそれあり

こうれいしゃとうひなん
高齢者等避難※3

2



気象状況悪化

大雨・洪水・高潮注意報
(気象庁)

1



今後気象状況
悪化のおそれ

早期注意情報
(気象庁)

これまでの避難情報等

災害発生情報

(発生を確認したときに発令)

•避難指示(緊急)
•避難勧告

避難準備・
高齢者等避難開始

大雨・洪水・高潮注意報
(気象庁)

早期注意情報
(気象庁)

※1 市町村が災害の状況を確実に把握できるものではない等の理由から、警戒レベル5は必ず発令される情報ではありません。

※2 避難指示は、これまでの避難勧告のタイミングで発令されることになります。

※3 警戒レベル3は、高齢者等以外の人も必要に応じ普段の行動を見合わせ始めたり、避難の準備をしたり、危険を感じたら自主的に避難するタイミングです。

警戒レベル5は、

すでに安全な避難ができず
命が危険な状況です。

**警戒レベル5緊急安全確保の
発令を待ってはいけません！**

避難勧告は廃止されます。

これからは、

**警戒レベル4避難指示で
危険な場所から全員避難
しましょう。**

避難に時間のかかる

**高齢者や障害のある人は、
警戒レベル3高齢者等避難で
危険な場所から避難
しましょう。**

あなたの援助が必要です。下記へ、連絡をお願いします。

緊急連絡先氏名（会社名・組織名など）

連絡先電話番号

わたし
私のこと

名前・ふりがな

生年月日

血液型

住所

電話番号

かかりつけ医・ふだん飲んでいる薬



援助してほしいこと

たす
助けていただき、ありがとうございます。